

## 第2回三田市教育委員会点検・評価委員会 会議録

- 日 時：令和4年8月12日（金）9：30～10：17
- 場 所：三田市役所南分館6階 601AB会議室
- 出 席：吉田委員長、藤原委員、藪田委員
- 事務局：松下学校教育部長、浅野学校教育部次長、外岡学校教育部次長（学校再編担当）、井上教育総務課長、上野学校再編課長、田中学校教育課長、市原教育支援課長、小山教育研修所長、廣瀬学校給食課長、嘉土文化スポーツ課長、松下健やか育成課長、藤田幼児教育振興課長、靱井教育総務課係長
- 傍聴者：0名

1 開会

2 委員長あいさつ

3 確認事項

（1）議事録の確認

4 議事

（1）説明・質疑

（2）点検・評価委員の意見について

5 閉会あいさつ

6 閉会

**【第1回教育委員会点検・評価委員会議事録の確認】**

- ・修正指摘等なし。

**【基本施策10 事務局から説明後、質疑応答】**

事務局

- ・前回の質問への回答
- ・三田市立図書館では全国でもかなり早い段階で読書通帳を導入した。学校との調整ができていない状況で試行的に導入、現在に至っている。
- ・また、図書館は本館・分館・分室合わせて3施設あるが、読書通帳に関する機械は3施設でそれぞれ独立しており、読書通帳を発行した館でのみ活用できる状況である。学校との連携を含め、今後、読書通帳をタブレット化する時期に利便性の向上に努める。
- ・団体貸付について、小学校から貸出希望日の2週間以上前までに団体貸付調査表を受付け、希望図書の貸出希望状況の把握を行っているが、重複具合や蔵書数により学校の要望にお応えできない場合もある。
- ・授業に必要な図書については、既に対応されているとおり、学校司書との相談を徹底のうえ、第一義的には学校図書を利活用いただき、学校図書で対応できない図書について図書館の団体貸付を活用するスキームを進めていただけることが肝要と考える。また、それによって、学校図書の活用の促進と充実につながると考える。
- ・郷の音ホールなどの文化施設の活用について、夏休みなどの期間には、通常の休館日も開館し、更に、それぞれの館に応じたイベントも開催しており、児童生徒の利用促進を図っている。また、引き続き学校への情報提供を強化していく。

委員

- ・読書通帳の共通化は図書館相互間及び学校との連携を考えると必要である。

事務局

- ・図書館だけではなく、図書室で借りた本についても当該図書の書籍に附番している図書番号のバーコードを読み込ますことで読書通帳へ記帳できる。読書通帳の活用促進の一環として、学校及び児童生徒への情報伝達を強化していく。

委員

- ・調べる学習の取組については、普段から図書館、図書室への馴染みがないと調べる学習まで踏み込めない。日ごろからの細かい取組が必要である。

**【点検・評価委員の意見について】**

委員長

- ・確認だが、委員意見について、今から追加しても問題ないか。

事務局

- ・問題ない。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤「健やかな体」の育成において、小学校5年生の児童と中学校2年生の生徒を対象に全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施しているが、三田の子ども達はどの項目が得意で、どの項目が不得意なのか、分析結果と課題の克服に向けて「さんだっ子元気アッププログラム」や「キッピー体操」を学校体育の中でどのように取り入れられているかを教えてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三田の子ども達を対象に毎年度全国体力・運動能力調査を実施しているが、昨年度の状況から見えてくることとして、持久走、ボール投げは全国平均を上回っているが、上体起こしや反復横跳びなどの俊敏性は全国平均を下回っておりその向上が課題である。経年変化を調べると、全国的にも低下傾向であり、三田の子ども達の体力状況も同様に低下傾向をたどっている。</li> <li>・体力の下降傾向の要因としては生活習慣をはじめ種々の要因が複合的に絡み合っていると考えている。これに手立てするため、「さんだっ子元気アッププログラム」にて専門家を各校へ派遣し、運動能力の向上及び定着に取り組んでいる。また、座った状態で、5分間程度でできる簡単な「キッピー体操」を習慣づけ、主に体幹を鍛え、柔軟性を持たせる効果があり、朝の会と下校前に実施している。</li> <li>・子ども達の様子を観察すると、椅子に座って学習する際に、背中が曲がっているなど姿勢が悪い児童生徒も散見する。正しくない姿勢による視力や学習意欲への影響も考えられることから、体幹を強化し、正しい姿勢の保持に努めている。</li> <li>・学校教育だけでは限界もあり、引き続き文化スポーツ課とも連携し、学校教育と社会教育の両輪で進めていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の推進として、食物を育てて食べるということが多くのことを感じることができることから、学校の畑で子ども達が育てて食べるということを多く経験させてあげたい。しかし、夏休みなど、学校の先生方だけでは食物への水やりなど対応するのが難しいこともある。また、食物を育てるには手がかかるが、そういった現実についても子ども達に関わらせてあげたいが、実際に手が回らないこともある。そのような課題を解決するため、JAや地域のみなさまと連携することもひとつと考える。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修正期限はいつまでか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来週中でお願ひしたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員の修正をもって了承とする。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、シルバーカレッジは開催されているのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日事務局に所管課は出席していないが、さんだ生涯学習カレッジを今年度は開催している。</li> <li>・感染症拡大防止対策を行ったうえで実施している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤「健やかな体の育成」について、先ほど事務局からの説明では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析では三田の子ども達の体力が低下傾向にあるとのことであった。その解決にむけて社会教育面での協力も必要だとの見解があったが、スポーツクラブ21などの活用は効果的ではないかと考える。</li> <li>・しかし、現在、児童クラブからその学校内で開催しているスポーツクラブ21のプログラムに参加する場合でも、保護者等が児童クラブから同じ校内で実施しているスポーツクラブ21に送迎しないとしないが、その点についてもう少し柔軟に対応できないのか。</li> <li>・例えば、児童クラブ在籍の子どもが16時30分から始まるスポーツクラブ21のプログラムに今は参加できない。そのあたりの自由度を高めることができないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室については、放課後児童クラブと一体的に実施する際の国の指針が示されており、同一小学校内で開催されるものについて、児童が放課後児童クラブの時間内に参加し、その後、放課後児童クラブに戻ることを認めている。</li> <li>・一方、スポーツクラブ21については、放課後子ども教室のように、児童のみが児童クラブの時間中に出入りすることは国の指針では認めておらず、他の習い事と同様に、午後5時の集団下校後や保護者等のお迎えがある場合には参加することは認めている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、同じ小学校の体育館で実施されるスポーツクラブ21のプログラムには児童クラブから子ども達だけで参加できるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全確保のため、午後5時の集団下校や保護者などの迎えによる下校以外は認めていないので、子どもたちだけで参加することはできない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性も大切だが、スポーツクラブ21の監督が迎えに行くなどの方法を取り入れるなど検討いただき自由度も上がれば、参加率も上がり、子ども達の体力低下傾向に歯止めをかける効果が期待できる。</li> <li>・児童クラブから同一小学校内で開催されるスポーツクラブ21への参加方法について、現在、運用されている方法を周知願う。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブ21の方も参加する子ども達の人数が増えることによって</li> </ul>

より活性化することが期待できる。また、子ども達の体力も経年的に低下しているとの報告もあった。様々な方法を取り入れることにより子ども達の体力向上に資すると考えるのでよろしく検討願う。

**【まとめ】**

委員

- ・今年度で委員就任3年目であり、意見を書かせてもらっているが、同時期に発生したコロナ禍のため制約が大きい、その中でもできていることも多くある。しかし、その反面、コロナ禍でできていないこともやはりある。
- ・今年度から第3期教育振興基本計画がスタートしているので、新しい試みも進めてほしい。
- ・なかなかコロナ禍で急に変わることは難しいところもあるが、引き続き子ども達のため頑張ってもらいたい。
- ・本年度も教育委員会の活動に感謝している。

委員

- ・変化が激しい中で、よく対応していただいているが、現場で子ども達の表情を見ているとまだまだ緊張感が取れていない。コロナ禍が初めて広がった時期と比べると明るい表情もみられたが、本来の子どもらしい姿でいられる時間が少なくなっている。できれば子ども目線で意見を聞いていただき、できることを進めていってほしい。
- ・今回も委員として勉強させていただき感謝している。

委員長

- ・多岐に亘る内容を、それぞれの課に分かれて多くの課題に対応している。
- ・それぞれの課題が目まぐるしく変わってくる。文科省から降りてくる課題も変化が大きい。GIGAスクールも一気に進んだように激しい変化である。
- ・教育委員会事務局の努力そして学校の努力に対し敬意を表し、感謝申しあげる。

<閉会>